

伊里中学校

温故知新

令和2年5月7日(木)

学校便り

NO. 6 発行者：清利太志

4月の授業風景より

臨時休業に入る前、生徒たちの授業の様子を参観に行きました。1Bの理科では「花のつくりとはたらきについてまとめよう」というめあてで授業が行われていました。ICTを活用した視覚支援がなされており、生徒たちは落ち着いた学習環境の中でワークシートに考えをまとめたり、発表をしたりしていました。真剣に学習する姿が見られ嬉しくなりました。

学校に生徒たちの姿がないと元気が出ません…。



今必要とされること

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちは今まで経験したことのない状況におかれています。学校現場においてもこのような長期にわたる臨時休業は前例がありません。困難が続く中でも生徒たちの学ぶ権利を保障していく必要があります。今年度の教育課程をどのように実施していくのかを状況を踏まえながら検討しているところです。

備前市内の中学校では、先月末より5教科（国語・社会・数学・理科・英語）の教科部会を中心に市内統一課題の作成に取り組んでいます。備前市の臨時休業は、5月24日までとされていますが、今後の状況によってはさらに延長されるかも知れません。そのため、既習内容の復習課題だけではなく、今後学習する内容の予習課題を提出することで、観点別評価につなげていきたいと考えています。また、課題の提出状況により今後の授業内容を効率化したり、補充学習につなげたりしていきます。市内統一課題は、一週間の学習内容を教科書等を参考にしながら取り組めるように作成しています。初回配付日は、次回登校日の5月15日になります。

学校中心の生活から家庭中心の生活となっている今、必要とされるのは「自己を管理する力」です。自分で計画を立てて実行してみる。改善すべきところを考え、再度挑戦してみる。PDCAサイクル（Plan→Do→Check→Action）に基づいた学習習慣を築くチャンスではないでしょうか。学校がある時よりも時間に余裕がある今この状況だからこそ学びを深める機会と捉えてほしいと思います。